

THE BULLETIN OF THE MIE ACUPUNCTURE AND MOXIBUSTION SOCIETY

一般社団法人 三重県鍼灸師会

会 報

2022 WINTER

第129号



五黄寅年・実行の一年

P 2 役員挨拶

P 6 70周年記念式典・全国大会

P 9 全国学術部長会議

P11 理事会報告

P14 オンライン事業アンケート

／ P 4 学術研修会報告

／ P 8 医療連携・DSAM

／ P10 東海北陸ブロック会議

／ P12 会員特典・お知らせ

／ P15 編集後記・表紙写真説明

「禍を転じて福と為す」

会長 岡田 賢



穏やかに新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年12月下旬に大阪でオミクロン株による初の市中感染が報告されてから僅か2週間で、沖縄県、山口県、広島県、東京都等で多くの新型コロナウイルス感染者が発生しました。もちろん全てがオミクロン株ではありませんが、凄いスピードで株が入れ替わっていることは確かなようです。“感染力は強いが重症化はしにくい”“経口治療薬が年末に承認されたから大丈夫”との巷の声もありますが、ブレークスルー感染率も高く、どういう条件下で重症化するのかも解明されておらず、経口治療薬は軽症～中等症の患者さんの重症化をある程度抑えるだけで予防薬ではない点を考えますとやはり罹患しないのが最善の策と言えます。

政府が昨年11月末に決定した緊急事態宣言や重点措置を出す目安の新指標では、新規感染者数より医療体制への負荷を重視する方に転換されましたが、転換後初の重点措置が沖縄県・山口県等に適用されそうです。それに先立ち新年早々安倍元総理が「新型コロナを感染症法分類の第2類から季節性インフルエンザと同じ5類として扱う手もある」と発言し物議を醸し出していますが、これは今に始まったことではなく感染症の専門家の間でも早期より提言されていた意見であり、政府側の感染症対策の専門家が正しいのか、安倍元総理側が正しいのか、新型コロナウイルスの全貌解明が待たれます。

まさに昨年末から懸念されていた「第6波」到来です。我々は、これまで通り「マスク」「手洗い」「うがい」「消毒」「換気」「3密回避」等細心の感染予防対策を施し、患者様を迎えることに変わりありません。“コロナ慣れ”が一番の敵になりそうです。“慣れ”のとなりにはいつも“気の緩み”が潜んでいます。第1波から現在までの感染防止努力が、一時の“気の緩み”で水泡に帰すことのないようにしたいものです。

さて、令和3年（2021年）は「三重県鍼灸師会 創立60周年」の年でしたが、記念式典及び祝賀会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為やむなく延期致しました。今後の感染拡大状況にもよるま

すが、令和4年（2022年）5月22日定時会員総会と同日に周年記念式典開催を予定しております。感染状況が落ち着き、会員をはじめご来賓並びに関係各位の皆様と共に式事を祝えるよう切望しております。状況が整い次第、追って皆様にはご案内いたしますのでよろしくご協力の程お願いいたします。

今年度の本会事業ですが、残念ながら普及事業はとこわか国体をはじめ、各地マラソン施術ケア、健康フェスタ等全てが中止または延期となりました。特に国体・全国障害者スポーツ大会局関係者に直接お話を伺いましたが、約5年前には既に大会準備委員会を設置し万全な状態でとこわか国体に備えていたにもかかわらず大会が中止となり、非常に残念がっておられた姿にける言葉も見つかりませんでした。来年度こそは、会員の皆様のお力を借りつつ鍼灸普及事業が滞りなく行われることを祈ってやみません。

今年度の学術研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、オンライン開催といたしました。我々鍼灸師は、研修会会場で直接「鍼灸治療の実技」を見ることが参加意義に直結すると重々承知はしておりますが、現状を鑑み、基本的には来年度もオンラインでの研修会を予定いたしております。この問題に関しましては、昨年末に学術・広報委員会共同で「事業のオンライン化に伴うアンケート」をお願いいたしました。皆様のご意見は可能な限り事業展開に反映させていただく所存です。

最後も「コロナ禍」の話になりますが、少々前向きにとらえられる点も発見しなければコロナに負けたようで面白くない。全国どこからでもから参加できる「オンライン研修会」はある意味“禍を転じて福”というところでしょうか？昨年10月の日鍼灸全国大会で「健康経営実践企業における鍼灸ケアについて」というシンポがありました。テレワークが推奨された結果、肩こり・ストレス・腰痛等の不定愁訴を抱える労働者が増大、いわゆるプレゼンティーズム（疾病就業）で、まさにこの3大症候は我々の得意分野です。「コロナ禍」での患者層拡大と行きたいものです（健康経営及びプレゼンティーズムについてはまた別の機会に述べたいと思います）。

お身体に十分ご留意され、本年も本会事業にご理解ご協力いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

五黄寅年のパワーに期待

副会長／法人管理委員長
新谷 有紀



本年もよろしくお願い申し上げます。今年は36年ぶり「五黄の寅年」ということですから年頭に大きな抱負を決めたという方もおられたのではないのでしょうか。

また、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が勢力を増し第6波の到来となり有り難くない始まりになってしまいました。会員の皆さんには今まで通り鍼灸師として基本的な衛生管理の継続をお願いいたします。また不安や悩みがありましたらご相談ください。

昨年、本会は創立60周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため式典等の記念事業は延期となり今年感染対策を講じた内容で開催を予定して準備を進めています。慶びの節目には会員で三重県鍼灸師会の歩みや未来について語り合えるといいですね。

会員皆様のご多幸と「はり・灸」によって多くの患者さまが笑顔になっていただけ一年となりますよう心から願っております。

変化する社会環境、生体変化

副会長／保険委員長
楠原 秀一



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。国内での新型コロナウイルスの流行は昨年秋以降落ち着きをみせていましたが、感染者はここに来てまた増える傾向にあります。自然、社会の環境の変化など、いわゆるパラダイムシフトと言えるなか、自然の営み・生活環境の変化に対する影響を補正する技術・設備は多くありますが、生体は変化に対して本来持っている力を発揮できるよう整え、対応出来る幅を広げることが必要だと思います。

最近は今まで以上に、心に対してもスポットを当てた総合的な治療を必要とされる患者が多いように感じています。ベストな施術を行うためにも、話を聞き、状態を確認し、手を当て、自分が出来ることのなかで患者に何をしてあげられるかを考えることが必要です。多様な生活環境のなかで生体自身の調整が陥らないよう対話し、施術が出来るように引き出しを増やし、周りの笑顔が増えるよう会員の皆さまとともに活動していきたいと思っております。

三重県鍼灸師会創立60周年記念式典

日 時 令和4年5月22日(日)

場 所 ホテルグリーンパーク津

60周年記念式典は、定時会員総会と同時開催予定です。新型コロナウイルス感染状況が不透明なため、懇親会は行わない予定ですが、可能な範囲で60年の歩みを振り返り、大きな節目としたいと考えています。



第71回 公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会(東京大会)

現代医療における鍼灸の役割

—未来へ向けての鍼灸のチカラ—

会期：令和4年6月3日(金)～6月5日(日)

会場：東京有明医療大学・有明ガーデンコンファレンスセンター

～日ごろの悩みや疑問を気軽に相談～

日頃、鍼灸院で施術を行っている、なかなか他の先生と治療や経営について意見交換をする機会がありません。自分はこの方法を選択しているけど、違った視点から話を聞いてみたい。というのがこの企画の始まりです。聞いてみたかった疑問や相談したかった悩みを気軽に話し合う機会として皆で意見交換を行いました。初めての試みだったので、始まるまではどんな雰囲気になるのか？90分間話が盛りあがるのか？など様々な不安の中準備を進めていました。

まずは「腰痛で初診の方が来院したら、どういう見立てをして、どのように治療を行うか？」といったテーマで意見交換会がスタートしましたが、先生方のバックグラウンドが様々で、見ているポイント、アプローチの仕方が違い、わからない事はどんどん質問していくといった雰囲気になり臨床から経営、時事ニュースについてなど話が飛躍し、90分の時間もあっという間に過ぎるほど盛り上がりました。参加された方の感想として「初めは質問は特にないと思っていたが、進むに連れてあれも聞いてみたい、これも聞いてみたいとなって楽しかった」と言って貰えました。なかなか集まって話す機会が無くなっているご時世、以前は勉強会の休み時間や懇親会の時などに出来ていた会員同士の交流も少なくなってしまうので、今回は会員同士の交流の場としての役割も果たせたと思います。

(報告：青年委員長 奥山敬太)

～安全な刺鍼技術の確立に向けて～

今回の研修会は第一部と第二部に分かれ、第一部は日本臨床鍼灸懇話会理事で、愛知県鍼灸師会会長の吉崎和樹先生による「局所施術における病態別刺鍼法とその練習方法」。第二部は森ノ宮医療学園専門学校教務部長であり、日本スポーツ協会アスレティックトレーナーである松下美穂先生による「刺鍼の安全性と鍼尖の動き」でした。

第一部では、来院された患者さまに痛い思いをさせて鍼灸施術を嫌厭されないようにするための技術を学びました。多くの研修会は、病態把握の仕方や治療方針の立て方、治療方法についてなど、知識的な内容が多い中、この研修会は刺鍼技術的な内容でした。患者様にいかに痛くなく、いかに施術効果を高くするための刺鍼方法について、また、そのような刺鍼技術を習得するための毎日の練習方法など、普段勉強する機会が少ない内容で、自分の刺鍼技術の見直しにもなり、とても興味深い内容でした。

第二部は、毎日臨床に追われているとつい忘れがちな鍼の刺鍼事故や各部位の安全深度についての研修でした。自分の臨床を振り返り、あの時はちょっと危険だったかもしれないとか、自分の施術を安全性の観点から振り返ることができました。鍼灸学校や研修会等で散々安全性について刷り込まれてきているのにも関わらず、やはり迂闊に打っている箇所もあり、改めて、安全性について考える良い機会となりました。また、講義の中で、鍼が硬くなった筋膜をはがす超音波画像を見ることができ、普段何となく感覚でしていたことを可視化でき、鍼の効果に自信を持たれた先生方も多かったのではないのでしょうか？今回の研修会は、卒後の先生方にとっては、これから鍼灸業界で活躍されるための基礎の部分、安全な施術について、とても大事な内容であり、私のような卒後10年や20年経つ世代にとっては、つい忘れがちな安全確認や基礎技術について、再度学ぶ機会となり、とても有意義な研修会となりました。

(報告：組織・学術副委員長 松山真理子)

みえの子ども夢宣言プロジェクト

当会が協賛する子どもたちの夢の実現を具体的に応援する「みえの子ども『夢☆実☆現』応援プロジェクト」が開催され、5件の子どもの夢が採択されました。さまざまな支援と共に、子どもたちの夢が実現されます。みんなで応援しましょう！



☆QRコードを読み込むと動画が流れます☆

第4回学術研修会

令和3年9月28日 オンライン

「療養費制度に関する周知事項」

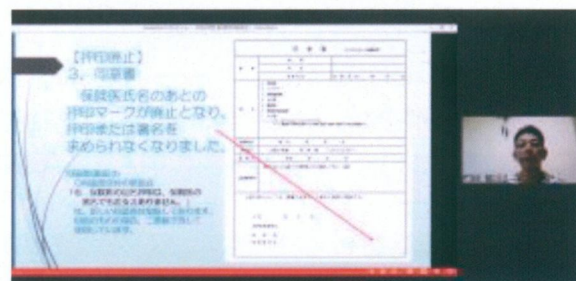
講 師： (一社)三重県鍼灸師会 副会長・保険委員長 楠原秀一 先生

今回は毎年定例で行われている保険講習会で、本会保険委員長の楠原先生より、療養費制度についての実情と最新の情報をお話しいただきました。

質疑応答においては、病院との併給の問題や、自賠責の取り扱いにおける保険会社とのやり取りについて、経験のある先生方からのリアルなエピソードを交えながらディスカッションをしていただき、大変勉強になりました。

また、現在は国保連合会療養費審査会の審査委員としてご活躍中の前保険委員長、天野治先生にもご参加いただき、お話しいただける範囲での審査会でのやり取りと実情についてもお教示いただきました（現在、往療を中心としてグレーな請求を上げている組織が増加傾向にあり、厚労省としても何らかの規制を加えていく可能性があるとの事です）。療養費制度はわれわれ一人一人が自覚を持ち、適正な運用を心がけ、患者さんの利益を最優先に運用すべき制度です。年一回の機会ではありますが、定期的な知識のアップデートの必要性を感じた研修会となりました。

(報告：学術委員長 奥田一道)



第5回学術研修会

令和3年11月21日 オンライン

「TCMA弁証トレーニング」

講 師： おおもり東口はりきゅう治療室 TCMA研修センター長 鎌田剛 先生

今年度の学術研修会は、「中医学」を基本テーマとし、全4回のシリーズにて企画し、その第3回目となるオンライン研修会が開催されました。今回も参加された方からの振り返りの声をいただいていますので、その中から一部抜粋してご報告いたします。

①最も勉強になったことは何ですか？

- ・ 同じ中医学でも、病態の捉え方に違いがあり、今までの自分の診方に偏りがある事がわかり、これからはもっと多方面から弁証しなければならない事がわかった。(H先生)
- ・ 病院で処方された薬や漢方などはどのようなものか確認はするようにしていたが、サプリメントなどは、今まで深くお聞きすることなくメモして終わりにになっていた。今回の症例で、食生活含めて摂取しているものがどのように身体に影響を及ぼすか、そこから導き出せるものがあると改めて重要性を認識した。(I先生)
- ・ 病態把握をした上で、それらの症状の程度を考慮し、臨機応変に施術方針を立てること。第一に何を整えるべきなのかを見定め、健康指導や傾聴といった鍼灸だけに限らない施術方針の組み立てが大切だということを学びました。(T先生)

②今回の研修を通して見えてきた、自身の課題は何ですか？

- ・ 3つの事例の3つとも、不眠の症状がありました。自身の治療院では、不眠が主訴で来られる方は少ないのですが、掘り下げていくと随伴症状に不眠があるという方は多いと思います。その他にも随伴症状から見えてくる原因があるので、主訴以外の症状の掘り下げをしっかりとしていきたいと思います。(Y先生)

③今回の研修の率直な感想を教えてください。

- ・ 臨床例をあげての弁証弁治は、臨床に携わる者として、とても勉強になりました。(H先生)
- ・ 学生時せっかく習ったことなのに忘れていたり疎かになっている部分の振り返りや実際の症例で、他の先生方がどのように問診をされているかなども少し見れて、とても参考になります。(I先生)
- ・ 毎回、学びのある研修をありがとうございます。
- ・ 偶然ではありますが、研修後数日以内に、新規で、事例のような患者さまが訪ねてきてくれます。毎回びっくりします。新規の患者さまにも、もちろん既存の患者さまにも、学んだ知識を還元していけるようにしていきたいです。(Y先生)

(報告：学術委員長 奥田一道)

～先人に感謝、そして後輩たちへ～

(公社) 日本鍼灸師会創立70周年記念式典が清々しい天気のもと全国から参集の会員並びに多数のご来賓を迎えて開催されました。令和2年12月開催予定がコロナ禍で今回に延期されたわけですが、感染者が減少したとはいえ、まだまだ予断を許さない中、関係各位の開催までの準備は計り知れない苦難の連続だったとお察しいたします。

さて、中村副会長の開会の辞に続いて、要会長の式辞では、昭和25年に社団法人日本鍼灸師会が産声を上げてからの沿革を、先人の業績に感謝の念を込めて述べられました。黙祷ののち、70周年の歩みを南副会長が、60周年から現在までの大きな変革について披露されました。祝辞では、まず小池百合子東京都知事のビデオメッセージに始まり、鍼灸マッサージを考える国会議員の会事務局長衛藤晟一参議院議員をはじめ、国会議員、各関係法人代表の挨拶をいただきました。ご祝辞をいただいた笹川記念保健協力財団会長喜多悦子先生は、医療物資が乏しい途上国へ医療支援参加された際に「最後は手を握る、手を当てる、いわゆる“手当て”で患者さんが安らぐ」ことを経験されたお話しは印象的でした。来賓紹介 祝電披露・各種表彰・謝辞ののち、安田副会長閉会の辞をもって記念式典は幕を下ろしました。

今回の記念式典に参加し、今日の鍼灸師の礎を築いた先人に感謝するとともに、後輩のためになすべきことのヒントをいただいた時間でした。

(報告: 岡田 賢)



(公社) 日本鍼灸師会創立70周年記念講演

「医師から見た鍼灸とICD-11」

日本東洋医学会会長 伊藤隆先生

伊藤先生ご自身の鍼灸との出会いは、知識から入った他の医師とは違い、実際に鍼灸治療を受け効果を実感したことから始まっています。頭ではなく身体で理解されていることが、言葉の端々で伺えました。また、高名な鍼灸師(師匠)から教わった刺鍼法並びに、当時の治療器具の写真を交えての紹介や、補瀉の治療法で治療効果が上がらない中、接触鍼と出会ったことで視野が広がったことも紹介されました。

さて、伝統医療使用国は1999年25カ国、2018年には98カ国に大幅に増加しにもかかわらず、日本には伝統医療を統括する行政部局がない現状を危惧され、またアメリカ2023年問題(※1)も提示されました。ICD-11については、第26章「伝統医学の病態—モジュールI」に、経絡病症など収載された点に触れられ、更なる研究が進むことを期待すると共に、伝統医療と西洋医学のダブルコーティングが医療全体の理想である、今後の漢方と鍼灸の活躍のフィールドは広く、医療(治療)・介護・福祉を通しての社会貢献を視野に入れ、医師とのコミュニケーションを密に行う必要性を述べられました。

最後に、ICDは改訂を繰り返すため次回改訂期までに伝統医療の成果が伴わなければ削除の可能性があり、成果を上げるためには、①日鍼会・全日学で鍼灸治療に関するデータベースを作成しデータ集積すること。②データの研究を行い進歩させること。そして最重要課題として ③それを継続させること。をあげられました。継続的に研究を続け、成果を世界に発信し続けることが、鍼灸及び漢方医学が世界に認められる近道だということです。



※1、アメリカ2023年問題: 2010年にECFMG(外国の医学部卒業生のための教育委員会)が発表した「2023年までにWFME(世界医学教育連盟)のグローバルスタンダード認証を受けていない大学の卒業生には、アメリカの医師免許を取得させない」というもの。

※2、ICD-11: WHOが開発する国際疾病分類の11番目の改訂版であり、健康情報と死因をコーディングするためのグローバルスタンダードで毎年更新されている。

「ポストコロナの我が国の医療はどうあるのが望ましいのか」

参議院議員 片山さつき先生

片山先生には衆議院選挙期間中の中の大変お忙しい中ご講演いただきました。

講演の中で、ポストコロナでまず手がけるべきことは、景気経済対策に着手し中小企業を中心とした国民の不安の解消に努めることが重要で、医療は今後にも備え、PCR検査体制の拡充及び入院ベッド数確保が必要である。日本は世界有数の医療従事者数、病院数及び病床数を誇っているにもかかわらず自宅待機療養者を多数生み出した背景は、日本国民の欠点である緊急事態の観念に

乏しいことが要因であり、今後生命の危機管理の徹底（地域との連携）が必要である。オンライン診療の充実、更に抗体カクテル療法の拡充、アビガン・イベルメクチンの治療薬としての可能性についても言及され、治療薬の開発については、今年度中に申請承認される見込みであることや、ブースターワクチン接種推進の件など、ポストコロナのあるべき医療体制についてご講演いただきました。

ディスカッションでは、日本鍼灸師会は組織率を高め、未病の分野及びコロナに対する鍼灸の力を可視化し、国・政府・医師などにポテンシャルを理解させることが重要であると力説されました。今後のパラメディカル、コメディカルの医療体制のあり方にも言及され、鍼灸師も参画し活躍の場を広げていけるのではと感じました。

（報告：岡田 賢）



第16回（公社）日本鍼灸師会全国大会 in 東京

令和3年10月24日25日としま区民センター

～変わる社会、変わらぬ鍼灸～

今回の全国大会は、新型コロナウイルスの影響により1年延期、初のハイブリット方式による開催という異例の大会となりました。夏からの急激な感染拡大により開催も危ぶまれましたが、感染も落ち着き、小規模ながらも70周年記念式典も併せて無事に開催することができました。

今大会のテーマは「変わる社会、変わらぬ鍼灸」。2日間で5つの講座が設けられていました。

青年部主催の「鍼灸を企業（起業）せよ」では、経営戦略としてのブランディングやコンセプトの明確化を解説されました。「健康経営実践企業における鍼灸ケアについて」では、鍼灸師、企業、行政の立場から社員や社会の健康問題にどのように鍼灸師が関わって行けるのか？東京都鍼灸師会のヘルスケア鍼灸師委員会の実践も交えながら解説いただきました。「我々の既得権の現状」では、戦後、鍼灸師がどのように立場を主張し守ってきたのか、そして医療人として社会に認知されるにはどのような資質と行動が求められるのかなどを解説いただきました。「鍼灸院経営～フィールドによる違いとは～」では、多店舗経営、往療、美容、個人経営など立場の



違う臨床家の経営実態や考え方、日々実践している具体的な内容を報告いただきました。「大学病院で活躍する鍼灸師の実技と講演」では東京大学、慶応義塾大学病院で実践されている治療手法や80番鍼を使用した治療の実技（VTR）などをご紹介いただきました。

70周年記念式典の講演や、上記の講演を聴講し、改めてこの業界を守り育ててきた先輩方や、仲間たちの想いに触れることができ、自分たち世代のやるべきこと、自分の目指す方向が少し見えたように思います。

（報告：広報委員長 瀧本一）

～医療とスポーツによる健康な地域コミュニティづくり、早期回復と予防を目指す～

この度の医療連携は、みたき総合病院与那覇靖理事長の「医療とスポーツによる健康な地域コミュニティづくり、早期回復と予防を目指す」という考えから県内の関連団体に声がかかり、説明会が開催されました。

スポーツ愛好家、競技スポーツアスリート、ジュニアアスリートがベストな状態でスポーツ活動に復帰していただけるよう病院、鍼灸師、柔道整復師、医療機器業者、トレーナー、地域スポーツ関係者、ジム関係者などが協力してサポートすることを目的としています。その為に、まずは病院と地域医療従事者との顔の見える関係性の構築を2022年1月から始め、来年には強固な連携とする計画です。

すでに名古屋市立大学では野崎正浩医師が中心となりスタートし、みたき総合病院スポーツ整形外科においても野崎医師を中心とした名古屋市立大学所属の専門医の方々がご尽力いただく事になっています。

医療連携を行う上では互いの信頼関係が重要になり、顔の見える関係で病院、患者様、鍼灸師が互いにメリットのある方法を考え進めていく事になります。私たち鍼灸師が紹介した患者様は例えスポーツ外来の専門外であっても受け入れていただき、専門性の高いドクターへと引き継がれます。また、紹介した患者様は最終的に紹介元の施設にお戻りいただき、治療やリハビリを継続していただく事になります。紹介した鍼灸師の希望と患者様のご許可がある場合には診察・手術・リハビリの見学も可能です。

今後継続的な医療連携を行い地域包括医療の一員として鍼灸師の活躍の場が増えることを期待しております。

今回の説明会には、当会会員6名が参加をしました。ご興味のある方は、当会事務局までお問合せください。

(報告：青年・普及副委員長 堀田三華子)



第4回DSAM災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会 令和3年12月19日福岡医療専門学校 / WEB

～信頼関係から始まる災害支援～

災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会では、災害現場において重要な多職種連携をよく理解し、ほかの団体の活動範囲や内容などを把握することでスムーズに被災地での力になれることを目的としており、全国から鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師が参加されていました。

第1部 新型コロナウイルス感染症に対する対応

これまでの災害といえば、自然災害（地震・台風・豪雨・土石流）を対象に想定されていましたが、2020年2月頃からコロナウイルス感染者増加、ダイヤモンドプリンセス号対応から新たな災害として、感染災害が加わるようになりました。鍼灸・あん摩マッサージ指圧は感染災害にどの様に向き合っていくのが、新たな課題になると考えられています。

第2部 災害医療基礎講座

災害時は、医療資源に対して治療対象が多数発生し、救える命も救えない、災害現場では名前も知らない者同士が即時に組織化され、同じ方向の考え方で活動を行い、『一人でも多くの命を救う』という共通する考えのもと、懸命な活動が行われています。災害支援において、他の団体のことも知っていなければなりません。災害現場において重要な「多職種連携」をよく理解し、ほかの団体の活動範囲や内容などを把握することでスムーズに被災地での力になります。災害医療での共通する基本原則である『CSCATTT』(※1) 体制確保と医療行為が、どの様なものなのか理解することが重要と感じました。※1 災害発生後にとるべき行動である7つの基本原則

第3部 災害シンポジウム

災害が発生すると、どの様に支援を行うか検討されがちです。支援するには受け入れ側の受援体制が確立していなければボランティアを受け入れることが出ず、復興の遅れにつながる事態も発生しているそうです。受援体制の構築は支援体制の確立と同時に推進しなければならないと考えられています。

平時より地域の方々や多職種の方々と対話をしていき、お互いの信頼関係を築くことの重要性を感じた研修でした。

(報告：津支部 水谷浩樹)

全国学術部長会議2021(Web開催)参加報告および生涯研修の単位取扱いについて

学術委員長 奥田一道

昨年話になってしまうのですが、全国学術部長会議2021がwebにて開催されました。

今年度の学術部長会議は8月9日、14日、21日で開催され、それぞれの都道府県の学術研修担当者（部長or委員長など）が自身の都合に合わせていずれかの日程に参加するという形態で実施されています（奥田は14日に参加いたしました）。主な内容は学術研修担当者の業務に関するところですので、会員の皆様に関連する内容を抜粋してご報告いたしますが、やはり各都道府県とも、新型コロナの影響を大きく受けてその対応に苦慮されているような状況が見えてきます。

まず、令和2年4月～令和3年7月の間で各鍼灸師会における学術講習会の開催状況ですが、開催できたという会が77.1%、開催できなかったという会が22.9%という結果が数字として報告されました。研修会の開催方法についてですが、複数回答ありで「オンラインで開催」が66.7%、「実会場とオンラインのハイブリッド開催」が51.9%、「実会場のみ」が14.8%、で「オンデマンド（YouTubeなど）」が7.4%となっており、何らかの形でオンラインを使用しての開催が大多数を占めており、オンラインを絡めた開催形式のメリットとデメリットについて様々なご意見を伺う事もありますが、好むと好まざるに関わらず、恐らくこの傾向は仮にコロナが収束したとしても、研修会開催の新しい形として主流になっていくのではないかと考えられます。（ちなみに三重県は令和2年度は開催回数を減らして、令和3年度については例年と同様の回数ですべてオンラインにて開催しています）。個人的に驚かされたのは、生涯研修の申請の取り扱いについてです。生涯研修については、毎年度初めに（公財）東洋療法試験財団に生涯研修会の開催届と事業計画を提出し、年間25単位を取得された方にその1年間「学んだことの証明」を報告し、修了証の交付を申請する学術研修担当者にとって非常に大事な業務であると認識しているのですが、毎年度申請している師会が60%、申請したことが無い師会が25.7%という報告がありました。様々な事情があるとは思いますが、全国で4分の1の師会が生涯研修の修了報告がなされていないとは・・・。

少し話が変わりますが、令和3年度は15単位で修了申請をすることができる特例措置があります。またNELSでの受講状況も単位としてカウントされるとの事ですので、今年度については例年よりも多くの方の修了を試験財団に報告することができる見通しです。NELSについてはオンライン環境さえあればどこでもスキマ時間で受講できるシステムになっていますので、是非ご活用ください。

いろいろと取り留めのない話になりましたが、学術部長会議の内容抜粋と生涯研修単位についてお話しさせていただきました。令和4年度はどんな年になるのか、まだまだ見えてこないところもありますが、変化に柔軟に対応できるよう常にアンテナは張っておきたいと思います。



learning BOX

learningBOX | NELS 日鍼会 E ラーニング研修

NELSは、「learningBOX」（ラーニングボックス）というEラーニングアプリを活用し、自宅のパソコンやタブレットまたはスマートフォンを用いて、いつでもどこでも研修を受講することが可能になるシステムです。



学術研修会・行事予定

- 三重県鍼灸師会創立60周年記念式典・定時会員総会：5月22日
- 三重県鍼灸師会主催研修会：5月、7月、9月、1月（日程、講師未定）
- 全日本鍼灸学会学術大会：6月3日～5日
- 三県合同研修会：10月三重県にて開催
- 日鍼会全国大会：12月3日、4日愛知県にて開催
- 全日本鍼灸学会：6月東京都にて開催
- 普及活動：わくわくフェスタ、マラソンケアを予定していますがまだ未定です。

～ブロック師会「連携の徹底」を確認～

今年度のブロック会議は、日鍼会から要会長・中村副会長を含め51名が参加のもと昨年度同様オンラインでの開催となり、本会からは岡田・新谷・楠原・奥田・瀧本・奥山の各理事が参加しました。

要会長の日本鍼灸師会現状説明では、日鍼会の執行委員会及び理事会体制の見直し、SNSなどを使った情報発信、会員増強に向けた「鍼灸師会のブランド作り」などの説明があり、東海北陸ブロックから日鍼会への質問・要望回答の補足説明で中村副会長が、療養費申請書押印不要の件も含めた保険関連の説明及び介護保険、地域包括ケア推進委員会活動等による鍼灸師の職域拡大に向けた取り組み等の説明があり、加えて参加会員からの質問にも回答されました。

各県師会事業報告・事業計画（事前提出）の確認を経て、各県の連携について今回の新型コロナウイルスワクチン優先接種要望活動及び熱海豪雨災害を例に挙げ、情報共有の重要性を認識し、引き続き師会長間で連携の徹底に向けた取り組みを協議していくことを確認しました。（一社）愛知県鍼灸師会から2022年全国大会準備状況の説明後、来年度ブロック会議開催日時等については開催県の静岡県師会会長を中心に協議調整する事とし、閉会となりました。

（報告： 会長 岡田賢）

支部長会議報告

令和3年9月26日 オンライン

1. 支部活動の現場と確認

①令和3年度に行った支部内での活動。研修・意見交換会 ②支部の各会員の連絡方法

2. 災害時の対応と緊急連絡網の活用

①感染対策について ②経営及び会員増強について

3. 新型コロナウイルス感染拡大による鍼灸院（職場）の状況について

三重県では大規模災害がいつ発生しても不思議ではない状況であるといわれていることから緊急連絡網について参加者で考えてみました。現在の各支部連絡網を使用した方法での安否確認は支部ごとで一括化した情報が執行部に入るのでまとめやすいが、万一取りまとめを行う支部長が連絡不可となった場合に備え、別の手段を想定が必要になる。そこで、会員個々に状況または情報を送受信できる、例えばLINEのオープンチャット等の機能を活用してみようということになりました。試行の際にはご協力をお願いいたします。LINEを使用していない会員には連絡を取る手段について聞き取りを行わせていただきます。

また、最後には施術所での感染対策や患者様への安心ポイントなど情報交換もさせていただきました。ご参加ありがとうございました。

（報告：組織委員長 加藤 はる美）

～多くのヒントを得られた全国青年委員との会議～

昨年に続き、オンラインによる全国青年部長会議が開催されました。

全国から41名（青年部長33名）の参加があり、日鍼会会長挨拶、各県委員長の自己紹介や各県取り組み報告、産業鍼灸師について、パワハラセクハラ問題、会員拡大への取り組みについてなどの議題が話し合われました。パワハラセクハラ問題については今後のハラスメント対策として日鍼会として窓口の設置を計画していることをお話しいただき、産業鍼灸師の議題では、不定愁訴が仕事の生産性を低下させているデータの揭示や健康増進に対する助成金があることなどを教えていただきました。また、鍼灸師として異業種交流会への積極的参加を推奨されていました。会員拡大に関してですが、準会員の拡大について無料で日鍼会の準会員になれることをもっと積極的に勧めて行って欲しいと報告を受けました。

今回の他県や日鍼会の取り組みや報告から、参考になることが多く三重県鍼灸会として新しい企画の案のヒントを多く得られた非常に有意義な時間となりました。

（報告：青年委員長 奥山敬太）

理事会報告

■令和3年(2021)度 第3回理事会

【日時】令和3年8月29日(日) 13:00~15:20 【会場】オンライン会議

【出席者】9名

【欠席者】1名

【決議事項】

第1号議案 (公社)日本鍼灸師会東海北陸ブロック会議(愛知)の件

第2号議案 令和3年度 三県合同学術研修会の件

第3号議案 各種規程の件

第4号議案 議案上程を含むその他の件

- (1) 三重県鍼灸師会広報マニュアル作成の件
- (2) 三重県内鍼灸施術所台帳の活用方法の件
- (3) 鈴鹿医療科学大学評議員選任方法の件
- (4) 知事表彰推薦の件
- (5) 日鍼会委員就任の件
- (6) 事務職員時給の件

■令和3年(2021)度 第2回臨時理事会

【日時】令和3年8月22日(日)

定款第34条の規定に基づいて※電磁的方法による開催

※「提案書」を確認し、議案に対する「同意書」をFAXまたはPDFで事務所に送信

【決議事項】

三重県新型コロナウイルス感染症感染防止対策強化推進補助金(第2期)申請の件

■令和3年(2021)度 第4回理事会

【日時】令和3年11月7日(日) 13:00~15:20 【会場】オンライン会議

【出席者】8名 【欠席者】2名

【決議事項】

第1号議案 令和4年度事業案及び予算案に関する件

第2号議案 HPサーバー移行の件

第3号議案 県知事表彰推薦者の件

第4号議案 その他の件

- (1) 創立60周年記念式典及び祝賀会の件
- (2) 学生部員の登録費・年会費の件
- (3) 新入会会員のサポートについて
- (4) 自民党県議、市議への鍼灸デモンストラレーションの件
- (5) 中間監査の件

■令和3年(2021)度 第3回臨時理事会

【日時】令和4年1月11日(火)

定款第34条の規定に基づいて※電磁的方法による開催

※「提案書」を確認し、議案に対する「同意書」をFAXまたはPDFで事務所に送信

【決議事項】

令和4年度・5年度三重県国民健康保険療養費審査委員会委員(あん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師を代表する委員)に天野治保険委員を推薦する件

三重県鍼灸師会会員特典

三重県鍼灸師会では、さまざまな事業を通して、会員のみなさんが恩恵を受けられるよう活動をしています。年度単位の事業から、数年単位の事業までさまざまですが、後世まで私たちが鍼灸を業として成り立つ社会環境を整備しています。

【学術研修事業】

- 学術講習会（年間5～8回開催）を会員価格で受講できます。
- （公財）東洋療法研修試験財団が主催する生涯研修制度（毎年）に申請できます。
- （公社）日本鍼灸師会が行う専門領域研修制度の履修認定者をHP上に掲載します。
- 本会学術研修会ビデオの貸し出し制度を利用できます。
- 研修事業における三重県鍼灸師会助成制度（交通費等一部）を受けることができます。

【広報・普及事業】

- 三重県鍼灸師会会報を年2回発行しています。
- 三重県鍼灸師会公式フェイスブックやインスタグラム等SNSによる情報発信を行っています。
- 広報普及活動として、県・市主催イベントにスタッフとして参加できます。
- 広報普及活動として、県内市民マラソンに鍼灸セラピー三重ケアスタッフとして参加できます。
- 会員施術所一覧を年1回発行し、県・市主催イベント、関係各所に配布します。

【療養費事業】

- 保険取扱登録を行った会員が提出する療養費申請書は点検をして、師会で取りまとめて各保険者へ提出します。
- 療養費等申請研修会が受講できます。（初心者には、登録後取扱研修を開催します）
- 療養費関連の情報・変更事項の連絡を受け取れます。
- 電子カルテ（DK）システムを会員価格で使用できます。

【共済・組織・青年事業】

- 適正な医療廃棄物処理のため使用済鍼等の医療廃棄物処理業者を紹介しています。
- 相互扶助の目的で、総合福祉団体保険（費用は年会費に含む）に加入することができます。
- 日鍼会保障プランに加入でき、不慮の事故や病気に対する保障を受けることができます。
- 治療中の事故に対応する賠償責任保険に加入することができます。
- 会員および関係者との親睦交流の機会となる意見交換会に参加することができます。
- A・B1会員は（公社）日本鍼灸師会に所属し、（公社）日本鍼灸師会が発行する「日本鍼灸新報」で全国の鍼灸師情報を得ることができます。
- 日鍼会会員は、日鍼会HP会員限定ページで各種ポスターや資料が閲覧・取得できます。
- 年齢の若い会員（概ね40歳くらい）は青年部会員として、三重県鍼灸師会および日本鍼灸師会の行事に参加することができます。

◇◇ バディ制度 ◇◇

三重県鍼灸師会では、新入会会員への補助制度として、「バディ制度」を導入いたします。開業時に入会される方が多いのですが、鍼灸師として経験があっても会員同士の繋がりや、保険業務、地域の繋がりがまだまだ薄い方がほとんどです。当会理事、支部長、経験豊かな会員でチームを組んで新入会会員を見守り、地域に根づく先生となって頂けるようサポートをしていきたいと思っております。会員先生方にサポートをお願いすることもあるかと思いますが、その時はどうぞよろしくお願いいたします。

オンライン忘年会

長期にわたるコロナ禍で、胸襟を開いてのコミュニケーションが不足しています。そこで、役員有志が集まり、ZOOM を使ってオンライン忘年会を開催しました。

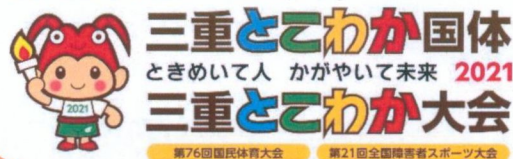
理事会などでいつも顔をあわせるメンバーですが、お酒片手に話す会話は臨床のこと、家族のこと、趣味のこと、地域のことなど、普段なかなか話せない内容で盛り上がりました。「早く日常に戻って、リアルな飲み会がしたい!」と思う反面、時間の心配やお金の心配もなく、気軽に参加できる「オンライン」の潮流は避けられない文化になってきたなど感じる年末でした。



普及活動について

令和3年度のマラソン大会ケア活動や、わくわくフェスタ展示などの普及活動は、昨年度同様、すべて中止となりました。非常に残念です。特に昨年は、三重とこわか大会が予定されていて、3年前の茨城大会、鹿児島大会と準備に関わってきました。大会直前まで、参加予定メンバーで会議を行ったり、主催者との話し合いを繰り返してきましたが、全て白紙となりました。本年5月関西地域で開催予定であったワールドマスターズゲームズも再延期となりました。

今後の予定はまだ見通しが立っていませんが、個々の技術と鋭気を養い、来る時に備えて頂くようお願いいたします。



わたしの本棚紹介

「自肅バカ〜リスクゼロ症候群に罹った日本人への処方箋」 池田清彦著

著者の池田氏は生物学者で、明石家さんまの「ホンマでっか!?TV」にコメンテーターとして出演していますのでご存知の方も多いと思います。番組では博識でユーモラスな発言をするおじさんです。この本でも、ある意味斬新な持論を展開しています。例えば、マイノリティとマジョリティの関係、アメリカ支配下でのイスラム国と日本人の違い、人為的地球温暖化説のウソなど。医療関連では、フィンランド症候群、「健康」というキーワードで国民をコントロールする医療利権の真相、そして、コロナ禍で分かる日本人の素顔並びに自己保身に走るリスクゼロ思考に、「日本人は家畜化されている!」と著者流の警鐘を鳴らしています。

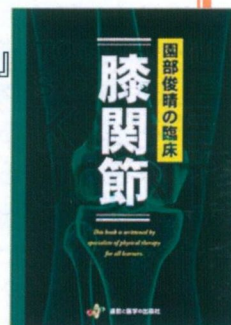
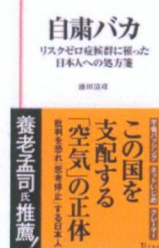
(推薦者 K)

『膝関節』 園部俊晴著

入谷式足底板などで医学界に新しい風を吹き込んだ理学療法士入谷誠の一番弟子として30年の臨床の中で培った技術と知見を余すことなく詰め込んだ実践的書籍です。よくある解剖学や論文などで多くの紙面を割く書籍ではなく、実践的な『組織学的視点』と『力学的な視点』という、2つの側面で組み立てる観方と治療方法で360ページを語る読み応えのある1冊です。

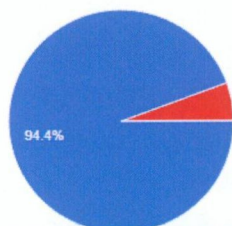
最近の書籍は、QRコードが埋め込まれており、文字やイラストでわかりにくい部分を動画で補足しています。新春の1冊にどうぞ!

(推薦者 T)



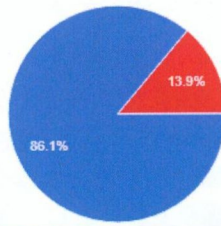
事業のオンライン化への意識調査

1. 自宅や鍼灸院でインターネットにアクセスできる環境はお持ちですか？



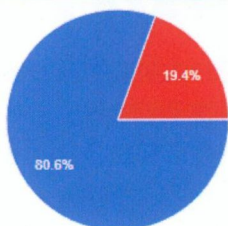
●ある 34名 (94.4%)
●ない 2名 (5.6%)

2. QRコードを読み込んでインターネットサイトにアクセスできますか？



●できる 31名 (86.1%)
●できない 5名 (13.9%)

3. これまでに何らかのオンライン研修会に参加した事がありますか？

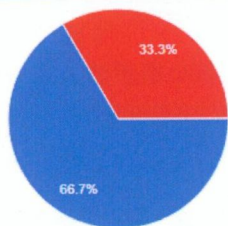


●ある 29名 (80.6%)
●ない 7名 (19.4%)

3-2 ないと答えた方は理由をお聞かせください。

- 参加方法がわからない (4名)
- 興味のある研修会が無かった (1名)
- 子どもがいるためゆっくり観てられない (1名)
- 時間がなかったりお金がなかったり Mac では対応してなかったり (1名)
- 自分は柔整専門なので必要な時は本で習得します (1名)

4. 日本鍼灸師会会員メールマガジンに登録をしていますか？

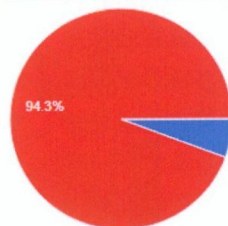


●している 24名 (66.7%)
●していない 12名 (33.3%)

4-2 していないと答えた方は理由をお聞かせください

- 知らなかった 5名
- 必要ない (3名)
- 登録の方法がわからない (3名)
- まだしていない (1名)

5. 研修や療養費電子申請、メルマガ登録などのオンライン事業に関するサポートが必要ですか？



●必要 2名 (5.7%)
●不要 33名 (94.3%)

5-2 具体的に希望するサポート内容

- 入力の仕方など、手順がわかるものが欲しい。イラストで説明をしてくれたらもっと嬉しい。
- 具体的にはわかりませんが、全くないよりは、何らかのサポートがあった方がよいと思います。
- 若い人達は多くの知識を研修してください

6. 来年度の研修会もオンラインを中心に予定しています

- 賛成 27名 (77.1%)
- 反対 1名) 以下各1名づつ
- 時間的余裕が無い時には、オンライン研修会に参加出来るのは有難いです。しかし、オンラインでの実技は非常に解りにくいので実際に見て学べるの有難いです。
- 意欲のある先生方は参加されるといいと思います。
- 実技がある物はやはりリアルが良いと思います。座学にかんしてはオンラインでも良いかと
- 状況によるが、技術の講習は対面も少しづつおこなって貰えたら参加したい
- 感染状況による ●どちらでも良い ●どちらでもない

6-2. オンライン研修会への賛成、反対の方共にその理由を教えてください。

- 日曜診療がある為、オンデマンド配信があると更に助かります。
- 遠方でも参加できることはとても嬉しい。ただ拘束時間が長いのでなかなか参加できない。いくらか支払ってもいいので、録画したデータを送っていただき、ゆっくり観させて欲しい。
- 普段であれば行けないような遠方の会場での講習にも参加でき、交通費等がかからないため
- 便利でとても賛成ですが、研修会場でリアルな声が聞けるのも大事です。内容も過去に似たような研修会を繰り返し行なっているようならアーカイブにて会が保管し勉強できる環境の方が会員にとって有意義かと思います。私は県外会員なのでオンライン研修での参加が基本ですが、違う言い方をすると全国どこでもオンライン研修は行われているので興味がある研修会には他府県、他団体にも進んで参加できます。今後はより組織、その地域ならではの企画が求められていくので団体の在り方も変わっていくのかと思います。
- コロナ対策には最適と考えます
- コロナが終息したら通常研修会にすれば良い
- 感染症の脅威に関わらず、社会構造の変化に対応した会務が必要だと思います。ただ、すべてオンラインではなく、年に数回は顔合わせや手合わせの機会が必要だと思います。
- いつもお世話になりありがとうございます。来年も良い年になりますよう願っています。
- 鍼灸実技が見られるリアル開催が理想ではあるが、オミクロン株が猛威を振るいそうな状況下、オンライン研修会が無難と思われるため。
- 会場への移動の時間が不要となり、私自身も時間が有効に活用出来るのと同時に、遠方の講師にも依頼しやすいかと思いますが、どうでしょうか
- 他県の研修は受けやすい。 移動等の心配がない。
- 時間が有効に使えるから
- 会場に行く時間が短縮できる
- 実技は実際に参加したいです。 座学タイプであれば、オンラインの方が時間の調整がしやすく、参加しやすいです。
- コロナが心配ですし、移動しなくて済むので参加しやすい
- 100%のオンライン化はコミュニケーション不足になる事から反対ですが、座学中心の講義等のオンラインは時間・費用の圧縮になるので賛成です。感覚的ですがオンライン3：1オフライン。
- 自宅から参加できるから
- まだまだコロナが落ち着きそうにないから。
- オンラインのやり方がわからないから
- 若い先生たちには頑張ってもらいたい
- 子どもがいると、オンラインの方が参加しやすいので

新型コロナウイルス流行により、急激な社会変容が起きました。

当会では、早期よりオンライン化を検討し、研修会や会議などに取り入れ、人と人との接触がなくて事業が継続できる形を構築して参りました。オンライン化により、事業の継続だけでなく経費削減や時間短縮といった利点がみられる一方で、オンライン環境が整わない会員にとっては、難しい時代になったと思います。このような時代においても、一人の会員も漏らすことなく、事業に参加できる環境を整えるべく話し合い、まずは現状や要望を伺い、そして希望する方へは、個別のサポートを行っていく準備をしています。

オンライン研修会や会議へのアクセス、メール受信、ラインアプリの導入方法など、些細なことでも事務所までお問合せください。

今度は、後押しする人に。

Nudge(ナッジ)とは「そっと後押しすること。怪我をしたとき、怪けそうな気持ちをそっと後押ししてくれた治療院の先生みたいに、「今度は、私が後押しする人になりたい!」——中和には、そんな先輩が大勢学んでいます。



Chuwa Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園
中和医療専門学校
 Chuwa Professional Training College of Medical Care
 (公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程
 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)
 はり、きゅう科(専科)
 柔道整復科I部(昼間部) 柔道整復科II部(夜間部)

〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町1-1-81
 TEL 0587-23-5235
 FAX 0587-23-5237
www.chuwa.ac.jp
 Web サイトはこちら



表紙写真「高原の夕日」

伊勢の国と伊賀の国を分ける布引山地に属する青山高原は春のツツジ、秋のススキなど四季折々の景観が訪れる人々を魅了します。笠取山山頂からは、西は伊賀盆地、東は伊勢湾を経て、遠く知多半島まで見渡せます。中でも壮観なのが、89基の風車が立ち並ぶ「青山高原ウインドファーム」。日本最大級の出力を誇る風力発電所であり、55000件分の一般家庭の電力を賄うことができるそうです。

大型の風車が白い羽根をゆったりと回る景色を眺めながら、一年の計を練ってみるのもいいのではないのでしょうか?



編集後記

私にはこの季節になると行きたくなる冬の習慣があります。それは「禊修法」いわゆる滝業です。ふんどし一丁で足元の霜柱を踏みしめながらごうごうと響く滝の中に飛び込んでいく快感。滝行の前はダウンジャケットを着ていても寒く縮こまった体が、滝に入る儀式をしている内にぽかぽかと温まり、汗さえもかき始めます。入水しキーンと冷えた水の塊が首筋に落ちてくると頭がボーとし、寒さどころか非常に心地よい感覚が湧き出てくるのです。滝から出ると我に返り、全身の細胞が生まれ変わったかのような研ぎ澄まされた感覚と、大自然の中で生かされるちっぽけな自分を感じる瞬間です。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」行動の寅年にいかがですか? (T)

一般社団法人 三重県鍼灸師会 会報 第129号 (令和4年2月1日発行)

発行者 一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 岡田賢
 〒514-0004 三重県津市栄町二丁目 325 番地
 電話 059-227-3345 e-mail harkyu_mie@vesta.ocn.ne.jp
 発行責任者 瀧本 一 (広報委員長)
 表紙写真提供 三重フォトギャラリー (ふがまるちゃん)

鍼灸師と受療者をつなぐ、新しいカタチ。

鍼灸つながる プラットフォームTM

業務を効率化し、
人件費を
削減したい！

リピート率を
上げたい！

自宅から気軽に
相談したい！

自分の症状に合った
鍼灸院を探したい！

広告を出さずに
集客したい！

価格や施術内容など
鍼灸に対する不安
を解消したい！

すべて解決します！

匿名化されたデータで
受療者と鍼灸院をマッチング



評価・施術記録など
データ蓄積

鍼灸院と受療者で
直接やり取り

アプリ連動による
双方向コミュニケーション



鍼灸院向けアプリ
「鍼灸つながるカルテ」



オンライン
予約



チャットによる
予後確認・相談



電子カルテ共有・
自宅ケア

etc...



受療者向けアプリ
「はりのマイカルテ」



東京海上日動のトータルアシストからだの保険(所得補償)

所得補償はケガや病気で働けない期間
あなたの所得を補償する保険です。

業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中の
ケガ・病気で仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。

入院はもちろん自宅療養もカバー

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を
受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。



保険期間1年 保険金額(日額)	
所得補償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)

お支払いいただく保険料					
ご契約年齢 お支払い方法	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円	4,240円
年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者(保険の対象となる方)の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額(日額)は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度(国民健康保険またはそれ以外)によって保険金額の設定が異なります。」

返れい金のお支払いはありません。(2013年10月改定)

ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただく場合がございます。

※ご契約後に保険のご契約内容・告知内容等について、確認のお電話をさせていただく場合がございます。

「トータルアシストからだの保険(所得補償)」は傷害総合保険(所得補償条項)のペットネームです。

このチラシは傷害総合保険(所得補償)の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり(約款)』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。

ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

◇取扱代理店

株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

〒510-0085

四日市市諏訪栄町5-16-2F

Tel/Fax 059-350-2433

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

担当支社 四日市支社

〒510-8515

四日市市鵜の森1-3-20 萩ビル6F

Tel 059-354-8613

2021年5月作成 21-TC01174

日本初の4年制
医療系大学



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

鈴鹿医療科学大学

医療・福祉の総合大学でスペシャリストをめざす。



保健衛生学部

- 鍼灸サイエンス学科 鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸学専攻
- 放射線技術科学科
- 医療栄養学科 管理栄養学専攻
臨床検査学専攻
- リハビリテーション学科 理学療法学専攻
作業療法学専攻
- 医療福祉学科 医療福祉学専攻
臨床心理学専攻

保健衛生学部

- 救急救命学科※
※ 2022年4月 白子キャンパスに開設

医用工学部

- 臨床工学科
- 医療健康データサイエンス学科

薬学部

- 薬学科

看護学部

- 看護学科

大学院

- 薬学研究科 医療薬学専攻
- 医療科学研究科 医療科学専攻
 - 東京サテライト
(社会人コース)

■ 千代崎キャンパス (保健衛生学部・医用工学部)

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001 番地 1
TEL: 059-383-8991 FAX: 059-383-9666

■ 白子キャンパス (薬学部・看護学部)

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500 番地 3
TEL: 059-340-0550 FAX: 059-368-1271

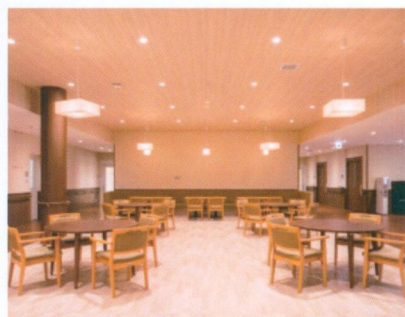
2021年4月「鈴鹿医療科学大学附属 桜の森病院」開院 (緩和ケア専門病院)



2021年4月、白子キャンパス内に「鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院」を開院しました。医学部・歯学部を擁しない医療系大学が附属病院を有するのは全国でも僅かであり、大学附属の完全独立型緩和ケア病院の開設は全国初となります。医療・福祉のスペシャリストを養成する本学には、緩和ケアに携わる専門家が多数在籍しており、看護、薬学、福祉、心理、栄養、鍼灸、理学療法、作業療法などの多職種連携による充実したケアが実現できます。学生の実習教育の場としても活用し、最前線でチーム医療を学ぶことで、教育のレベルアップと人材育成を図ります。



特別室



食堂兼デイルーム

new

もぐさんの 箱きゅう

MOGUSAN'S MOXA BOX
STARTER SET



詳しくは
WEBで！



煙・ニオイのでない



専用炭化もぐさ

50粒がセットで付属

- 驚きの火付きの良さを実現
- 特許出願中の独自製法

100%もぐさのみを原料に使用しているので、もぐさそのままの火付きの良さ。燃焼中も煙がでないので場所を選ばずご使用頂けます。



セット品 もぐさんの箱きゅう



箱きゅう本体、炭化もぐさ（50粒）、タオル、ピンセットなどが付属したお得なスターターセット。

別売 専用炭化もぐさ



炭化もぐさ100粒を単品でご用意しております。

程よい温感を実現する



セラミックボード

を本体底面に設置

熱源から出ているあたたかさの源「遠赤外線」を肌まで程よく伝えるセラミックボードを採用しました。

その他のポイント

温感を調節する
回転式通気口



灰の処理がスムーズ
メッシュかご



より広い範囲へ施灸できる
箱きゅう連結機能



＜「もぐさんの箱きゅう」仕様＞

【サイズ】高さ約100mm、幅約110mm / 【重量】約300g

【温感持続時間】約20分（専用炭化もぐさ1粒を使用した場合）

【材質】箱灸本体（天然ヒノキ材）
セラミックボード（陶磁器）
メッシュかご（ステンレス）

